

2023 年 10 月 5 日

通貨ニュース

OECD 景気先行指数:ドイツ経済の弱まりが懸念される

10 月 4 日、OECD(経済協力開発機構)は 9 月分の CLI(景気先行指数、Composite leading indicator)を公表した。景気循環の転換点の兆候を早期に捉えるための指標であり、先行期間は 6~9 か月とされている。また、サンプルから外れ値を除去したのちに、それらを標準化することで算出される長期平均(≒中立水準)を 100 としている。すなわち、100 以上は景気拡大、100 以下は景気縮小局面を意味する。OECD によれば、G20 の CLI は+0.12%上昇した(図表 1、2)。11 か月の上昇であり、2 か月連続での長期平均超えだ。また、G7 (+0.06%)も 10 か月連続で上昇。以下、地域別に確認する。

アメリカ大陸は、全体的に良好な結果だった(図表 1、3)。メキシコ(+0.12%)は 12 か月連続で、米国(+0.10%)は 7 か月連続でそれぞれ上昇した。また、カナダ(+0.08%)は 4 か月連続で、ブラジル(+0.05%)は 7 か月連続で上昇した。

欧州圏は、まちまちの結果となった(図表 1、2、4)。欧州主要 4 か国の CLI は、+0.02%と 2 か月連続で上昇した。個別国では、英国(+0.24%)は 12 か月連続で上昇した。他方で、ドイツ(▲0.12%)は 6 か月連続で低下した。

アジア・オセアニアは、中国を中心に切り返しが目立つ(図表 1、5)。中国(+0.34%)は 13 か月連続で、韓国(+0.07%)は 7 か月連続でそれぞれ上昇した。また、日本(+0.03%)は 8 か月連続で、上昇した。一方、オーストラリア(▲0.03%)は 28 か月連続で、インドネシア(▲0.01%)は 7 か月ぶりにそれぞれ低下した。

中東・アフリカは弱めな結果となった(図表 1、6)。トルコ(▲0.26%)は 4 か月連続で、トルコ(▲0.02%)は 19 か月連続でそれぞれ低下した。

G20 の CLI は、上述の通り 11 か月連続で上昇を見せており、すでに底入れをした可能性が高いだろう。8 月に約 1 年半ぶりの長期平均超えを記録したのち、9 月にはやや水準を切り上げた。国・地域別に確認すると、アジア・オセアニアの堅調さと、欧州圏の弱さの対比が目立つ。上述の通り、アジア・オセアニアをけん引したのは中国と言って差し支えない。ゼロコロナ政策解除以降、経済回復が思ったように進んでいないことは繰り返し本欄で述べてきたことではあるが、少なくとも景気拡大局面にあることは間違いないだろう。市場でも、中国経済への弱気姿勢も若干後退しつつあるように思える。他方で、欧州圏や G7 の CLI の上昇を阻んでいるのは、ドイツだ。足許では、ユーロ圏の景気失速感が意識されている状況だが、その筆頭格がドイツでもある。ロシア・ウクライナ戦争や脱原発の流れからエネルギーコストの高まりが懸念される中、一部調査では、製造業の海外移転の流れが加速していることが強く示唆されている。この流れが今後も加速するようであれば、生産能力の下押しになるだけでなく、輸出能力の低下を通じ、ユーロの需給面でのアドバンテージも弱まる可能性も否定できない。

金融市場部
長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: OECD 景気先行指数の推移

OECD景気先行指数	(長期平均=100)							
	23年02月	23年03月	23年04月	23年05月	23年06月	23年07月	23年08月	23年09月 前月比(%)
G20	99.2	99.3	99.5	99.6	99.8	99.9	100.1	100.2 0.12
G7	98.9	99.0	99.1	99.1	99.2	99.3	99.3	99.4 0.07
主要欧州4か国	98.9	99.0	99.1	99.2	99.2	99.2	99.2	99.2 0.02
主要アジア5か国	99.3	99.6	99.8	100.0	100.3	100.5	100.7	100.9 0.19
米国	98.8	98.9	98.9	99.0	99.1	99.2	99.3	99.4 0.10
カナダ	97.8	97.7	97.6	97.6	97.6	97.6	97.7	97.8 0.08
ブラジル	99.5	99.5	99.6	99.7	99.9	100.0	100.0	100.1 0.04
メキシコ	100.3	100.4	100.5	100.5	100.6	100.7	100.8	100.9 0.12
ドイツ	99.6	99.7	99.6	99.5	99.4	99.2	99.0	98.9 ▲ 0.13
フランス	98.7	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6 ▲ 0.00
イタリア	98.4	98.6	98.7	98.8	98.8	98.9	98.9	98.9 0.00
スペイン	99.3	99.4	99.5	99.6	99.7	99.8	99.8	99.8 0.01
英国	98.4	98.8	99.2	99.5	99.8	100.0	100.2	100.5 0.24
日本	100.0	100.0	100.1	100.1	100.2	100.2	100.2	100.3 0.03
オーストラリア	99.1	98.9	98.8	98.8	98.7	98.6	98.6	98.5 ▲ 0.03
中国	99.3	99.7	100.1	100.5	100.9	101.3	101.6	102.0 0.33
韓国	98.5	98.5	98.7	98.8	99.0	99.1	99.2	99.3 0.07
インド	99.5	99.5	99.5	99.6	99.6	99.6	99.7	99.7 0.00
インドネシア	97.8	97.8	97.9	97.9	97.9	98.0	98.0	98.0 ▲ 0.01
南アフリカ	100.3	100.1	99.9	99.7	99.5	99.4	99.4	99.3 ▲ 0.02
トルコ	100.1	100.3	100.4	100.4	100.3	100.1	99.8	99.5 ▲ 0.26

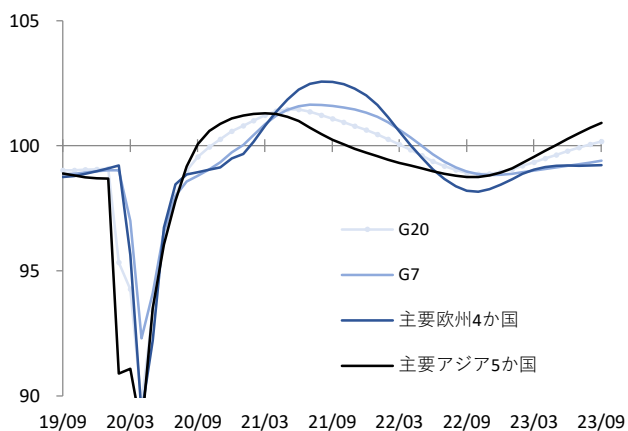
資料: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

※それぞれ四捨五入で記載している

※主要欧州 4 か国はフランス、ドイツ、イタリア、英国

※主要アジア 5 か国は中国、インド、インドネシア、日本、韓国

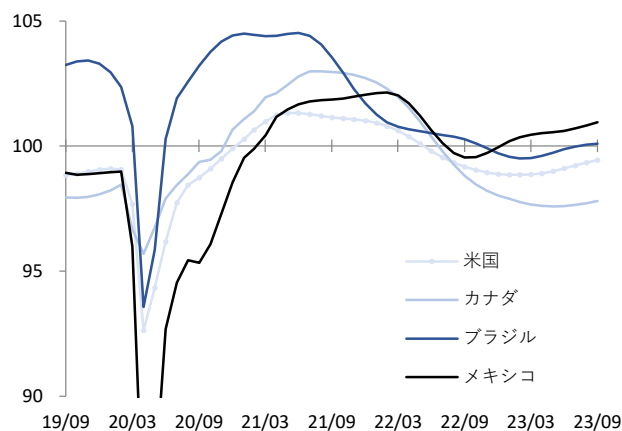
図表 2: G20、G7、主要欧州 4 か国、主要アジア 5 か国



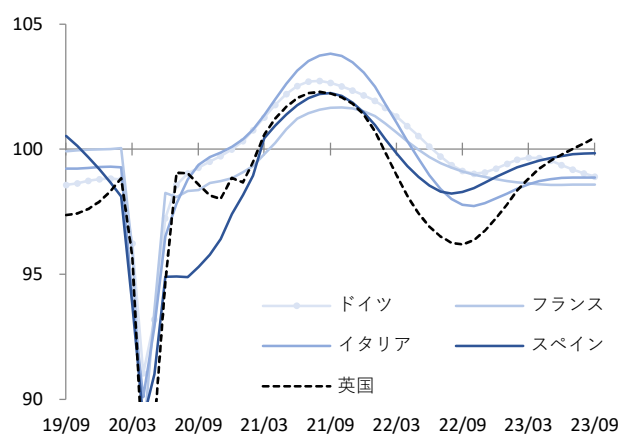
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

※コロナ期の下限は意図的にカットしている。以下図も同様。

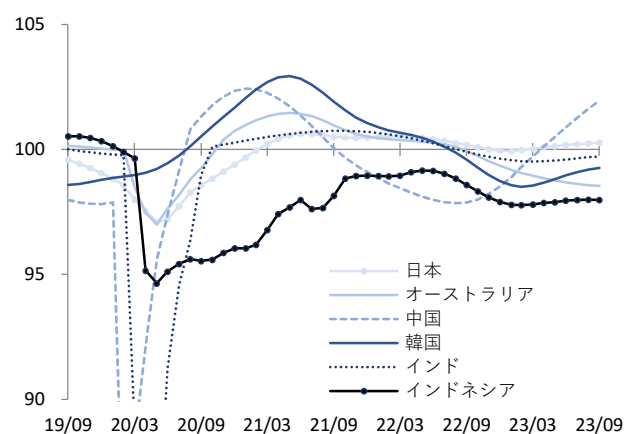
図表 3: アメリカ大陸



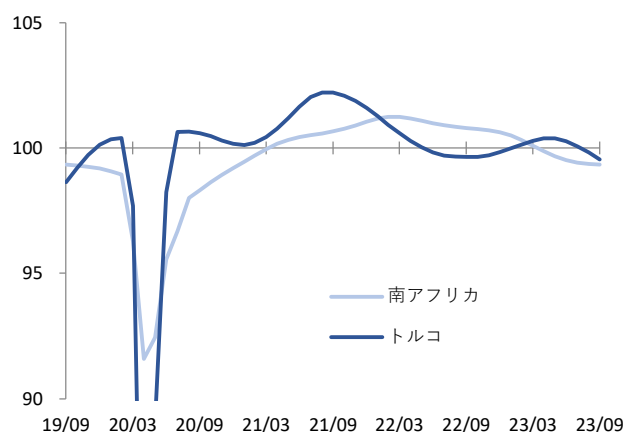
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 欧州圏


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: アジア・オセアニア


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: 中東・アフリカ


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。